

有浦保育園園評価 について

～全職員が共通理解して取り組んでいくためには～

大館市立有浦保育園

佐藤 美幸

園の重点目標設定

- ・ 4月職員会議で重点目標の内容について、昨年度の成果と課題を職員間で共有
- ・ 園の全体的な計画をもとに年度初めに保育の重点を決定
(昨年度は
 - ・ 安心、安全な環境を作る
 - ・ 丁寧に伝える保育をする)
- ・ 重点目標を達成するために、それぞれの項目の中での取り組みを具体化していく

【保育の重点】・安心、安全な環境を作る。 ・丁寧に伝える保育をする。			
「安心・安全」 ～かけがえのない命を守る～ ・避難訓練・不審者対応訓練 ・交通安全指導・交通安全教室 ・避難訓練や交通安全指導実施後の様子を保護者へ掲示 ◆安心安全(ヒヤリハット)会議 ◆アレルギー会議・食育 ◆安全管理マニュアルの周知 ◆安全点検簿・園内外環境の見直し ◆エビベン研修・AED研修・嘔吐処理研修 ◆安全計画 ◆人権擁護チェックリスト	「幼保小の連携」 ～小学校との円滑な接続と継続的な育ちに向けて～ ・公開保育参観 ・5歳児授業参観 ★小学校教諭による保育士体験 ・幼保小連携会議 ◆架け橋プログラム ・保育要録 ◆発表会見学 ・公務員により・園により ・幼保小連携により・不審者対応訓練 ・1年生対象ようこそ先輩(夏・冬) ・児童館へ園だよりの配付 ・カトリックこども園年長児と交流 ◆メディアコントロール週間 ・有浦小保健委員会	「子育て支援」 ～保護者の受容と自己決定を支援する～ ・月1回1週間自由保育参観 (希望により随時保育参観可能) 保護者の保育士体験 ・虐待防止 ・個人面談 ・育児相談 ・園・クラス便り ・本日の保育の掲示 ・育児講演会 ◆メディアコントロール ★子育て時間遊びの紹介 ★祖父母交流会 ・保護者アンケート・保育園の自己評価 結果公表 ◆絵本の貸し出しの推進 ★保護者向けの本の貸し出し	
「特別支援教育」 ～みんなで共に育ち合う(インクルーシブ)保育～ ・比内支援学校教育専門監による指導助言 ・児童発達支援センターひまわりと連携 ・保護者面談 ・育児相談 ・個別の支援計画・指導計画 ・園内発達支援会議 ・比内支援学校教育専門監講話会 ・満ち歳児つづき相談	「ふるさとキャリア教育」 ～地域の中で様々な人と関わり育つ～ ・こどもハローワーク ・職場体験学習(小・中学校) ・インターンシップ(高校) ・保育関係実習生 ・学生ボランティア ★老人ホームふれあいの里有浦	「職員の資質向上」 ～様々な学びを重ね保育力アップを目指す～ ◆園内研究(園地の造成と整備) ◆ミニ公開 ◆要請訪問 ・園内研修 ・他機関研修 ・研修伝達 ・オーダーメイド研修 ・苦情受付・解決 ・保護者アンケート ・保育所の自己評価 ・園関係者評価 ・自己評価チェックリスト ◆若手保育士勉強会 ◆本日の保育の提示 ◆クラスだよりの実施	

★は今年度あらたに取り組むところ ◆は今年度の重点目標と関連するところ ●は園として特に力を入れるところ

- ・ 保護者～園だよりや保育参観等で周知
- ・ 全職員～園内研修や各種会議等で話し合い
共通理解を図る
- ・ 職務分担～より良い園運営やクラス運営となるよう、役割
分担しながら全職員一人一役意識して取り組んでいる

- ★は今年度あらたに取り組むところ
- ◆は今年度の重点目標と関連するところ
- は園として特に力を入れるところ

職員・保護者による評価

- ・職務分担した中で、それぞれ年間計画に基づき実施
前期(9月)と後期(2月)で評価
成果と課題を出し合い次につなげる
(中間アンケートはとっていない)

- ・12月保護者アンケート、保育所の自己評価実施

保 護 者 ア ン ケ ー ト				
太 館 市 立 保 育 園				
お子さんのクラス名 (組 組)				
今年も残すところ1ヶ月余りとなりました。日頃の保育活動につきまして保護者の皆様のご協力に感謝致します。今後の園運営に活かしていきたいと考えていますので、保護者の皆様の御意見・ご感想をお聞かせください。次の設問の該当するところに○をしてください。				
1月17日までに回収ボックスに入れてください。				
	子ども そう思う	そう思う そう思わない	そう思わない ()	そう思わない ()
1 保育園は、保育目標や保育方針について分かりやすく伝えている。				
2 保育目標「遊びを通して生きる力を育む」は、具体的に生活や遊びに反映されている。				
3 子どもが喜んで登園している。				
4 職員は、子ども一人一人を理解し、良いところや個性を認め、大切に保育している。				
5 保育園は、子ども達が楽しく遊び、様々な経験ができるように環境を整えている。				
6 保育園は、自然との触れ合いや地域との交流を十分にしている。				
7 行事は、子どもにとって楽しいものになっている。				
8 職員は、いつでも明るく笑顔で子どもに接している。				
9 職員は、子どもの体調について常に気配りしている。				
10 保育園は、子どもが病気やけがをしたとき、適切な対応をとっている。				
11 保育園は、安全対策がとられている(施設・設備・不審者・災害訓練など)				
12 給食の献立は充実している。				
13 給食の献立表や展示食は、毎日の食事の内容が分かるようになっている。				
14 「園だより」「クラスだより」等は、子どもの様子や情報を分かりやすく伝えている。				
15 職員は、子どもの様子について保護者と情報交換に努めている。				

令和6年度 太 館 市 「保育所の自己評価」					
☆この評価は、職員一人一人が、本園の運営・保育全般を総合的に評価し、来年度の改善に生かす方向で記入してください。個人の反省・評価ではなく、園全体を客観的に評価して頂く事が、園の課題を明確にすることにつながります。					
☆項目ごとに、意見や改善策を記述してください。					
氏名					
項目	内 容	評 価			意見・改善策
		達成度 ()	達成度 ()	達成度 ()	
保 育 目 標	1 子どもの実態を踏まえた保育目標になっている。				
	2 保育目標をもとに全体的な計画が立てられている。				
	3 目標は職員に周知されている。				
保 育 に つ い て	1 保育所保育指針に基づいて、年間指導計画・月案・週日案が作成されている。				
	2 子ども一人一人の発達や興味に応じた援助が適切に行われている。				
	3 環境の構成を意図した保育を心がけている。				
	4 日常的に振り返り、子ども理解に基づいて保育の改善に努めている。				
保 健 ・ 安 全	1 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への情報発信が行われている。				
	2 危機管理(感染症・安全管理・不審者等)マニュアルが活用されている。				
	3 施設・設備の安全点検は計画的に行われている。				

- ・それぞれアンケートを実施し
結果と改善策をまとめる
- ・園内、保護者、園関係者評価委員
に公表する
- ・園の取り組み状況を全職員で把握
- ・後期の話し合いをもつことでその
後の取り組みの改善につなげる

園関係者評価委員会について

- ・ 5月～評価委員の依頼

小学校校長・保護者会会長・第三者委員2名(民生児童委員)
地区町内会長、副会長

- ・ 第1回評価委員会

今年度の園評価について説明

- ・ 第2回評価委員会

AM保育参観、PM研究協議(都合がつく場合)

- ・ 第3回評価委員会

AM保育参観、PM研究協議(都合がつく場合)

- ・ 第4回評価委員会

保育参観、評価及び助言

- ◆ 園の自己評価を客観的に評価していただくことで、

現状の見直し

課題の意識化

園や地域の良さや特色への気付き

今後の具体的な見通しや次年度の重点目標の検討へつながる

教育・保育の質の
確保・向上
保護者や地域からの信頼

令和7年度の取り組み

◇4月、昨年度の成果と課題を踏まえて、全職員で話し合い重点目標を決定

- ・『丁寧に伝える保育をする』 昨年度に引き続き継続
保護者支援や保育の質の向上にもつながる目標として継続
- ・『幼・保・小、保護者、地域とつながる』
行事の見直しをしながら、地域の人と関わることでお互いに笑顔が増え
地域の良さを知るきっかけとなる

今後の見通し

- ・9月、それぞれの職務について前期の反省、評価をして後期につなげ、保育の質の向上を目指し園の組織も高めていけるようにしていく
- ・保護者、職員との良好なコミュニケーション作りについては、報告・連絡・相談はもちろんのこと1つ1つ確認を怠らないことを再確認していく
(わかっているはずと思わない)
- ・園関係者評価委員会においても園内外での取り組みを積極的に発信し、助言をいただきながら取り組みの改善につなげていく